



正法寺平成の大改修完成公開事業

【伽藍公開】

- 開催日 9月29日（金）、30日（土）
- 拝観料 300円
- 公開施設 正法寺本堂、庫裡、鐘楼堂、惣門、宝物庫、開山堂、小方丈
※両日とも、午前10時、午後1時、2時、3時に解説会を行います。

【正法寺住職 町田大謙老師の法話】

- 日時 9月29日（金）午前11時
- 場所 正法寺本堂
- 演題 「心」

※9月29・30の両日は、たいへん混雑が予想されます。
車でお越しの際は、黒石寺駐車場をご利用ください。
正法寺まで往復の無料シャトルバスを運行します。

黒石寺駐車場出発時間

- 29日 午前9時30分、10時30分、11時30分
午後1時30分、2時30分、3時30分
- 30日 午前9時30分、10時、10時30分、11時、
11時30分、午後1時30分、2時、2時30分、
3時、3時30分

【正法寺保存修理工事のパネル展示】

- 日時 9月16日（土）～10月1日（日）
- 場所 水沢区横町「メイプル」地下1階（9/16～9/22）
水沢区駅通り「いっぽく亭」（9/22～10/1）

生きた重要文化財を 後世に残していくために

■問い合わせ 奥州市教育委員会事務局
水沢支所生涯学習課文化財保護係（内線535）

の黒石地域には、重要有形文化財「釈迦如来坐像」などを伝える黒石寺や重要民俗文化財「黒石の十三塚」など古代から中世にかけて形成された宗教、信仰遺構などがあります。さらに、北上川の船運を管理する船肝いり「千葉家」なども存在し、歴史的意義からもクローズアップされるものと考えられます。

市は、黒石地区の歴史的空間を主要な観光ポイントのひとつとして、環境の整備と情報の発信をさらに進めていきます。また、新生奥州市の歴史を象徴するもののひとつとして、市民のかけがえない貴重な財産として、これらの歴史的遺産を後世に伝えるための保全と調査を進めます。

今まさに、日本一のかやぶき屋根を誇る本堂などが往時の姿でよみがえり、荘厳な正法寺が出現しました。この正法寺とあわせ、こ

国民共有の財産として正法寺を将来にわたって保存、公開することを目的とした「平成の大改修事業」が、11年8カ月の歳月と22億円の事業費をかけて完成しました。

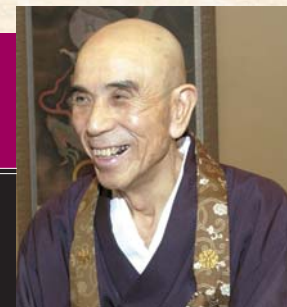
改修事業では、在来の木造建築技術と最新の土木技術を駆使するとともに、ほかに例を見ない1200㍓の防火水槽を備えた防火設備の設置や地震対策がとられました。また、仏像や絵画、古記録などの調査、地下に眠る正法寺の歴史を探る発掘調査により「奥羽二州の本寺」としての歴史や伽藍の変遷も解明されてきました。

これから取り組むべきこと

ご尽力いただいた皆様に
感謝いたします

正法寺住職（第57世）

まちだ だいけん
町田 大謙 さん（水沢区黒石町）



思い起こしますと、今回の改修工事の話が上ったのは昭和59年、成田住職（第55世）のときのことでした。当時は、経費の関係で本堂の屋根をかやぶきにすることが難しく、銅板にすることになった決まりました。しかし、平成2年に寺が国の重要文化財に指定され、このかやぶき屋根を保存していくことになりました。この重要文化財指定は、本寺にとってはとても重要なことであり、指定に向けて取り組みをしていただいた関係者の皆様にとっても感謝しております。完成まで長い年月を要したため、完成を待たずして成田住職、大山住職（第56世）は亡くなられ、檀家さんや信者さんの中にも同じ思いで亡くなられた方がいると聞いております。

ここによみがえった正法寺は、成田住職や大山住職、檀家さん、信者さん、工事に携わった皆さん、地域の皆さんなど多くの人たちのご尽力のおかげであり、心から感謝の念を申し上げます。